**千葉大学　第2回文学部講演会 2013**

現生人類単一起源説と言語の系統について

**講師：**弘前大学人文学部教授 山本秀樹**氏**

[内容]  
近年の遺伝学的研究によって「現生人類単一起源説」は定説となったが、これまでのところ、言語学に対するインパクトはあまり見られない。しかし、これが言語学、特に言語系統論にもたらす意味は、けっして小さくない。「現生人類単一起源説」を前提にすれば、従来考えられてきたよりもはるかに遠い言語の類縁関係の存在、果ては、しばしば荒唐無稽と思われてきた「人類言語単一起源説」の可能性も考えられ、言語学の世界で伝統的に同系、非同系と言われてきたものは、実はすべて程度差にすぎなかったという可能性も浮上してくる。

**日時：2013年11月21日（木）16：10～17：40**

**（終了後講師を囲んでボジョレ・ヌーボー懇親会）**

**場所：千葉大学西千葉キャンパス・文学部103教室**

**（どなたでも、講演会懇親会歓迎いたします。ご自由にご参加を。）**

**山本秀樹氏 主要著訳書・論文**

**[主要著訳書]  
『世界諸言語の地理的・系統的語順分布とその変遷』（単著，溪水社，2003年）  
『言語普遍性と言語類型論』Bernard Comrie: *Language Universals and Linguistic Typology*（松本克己氏と共訳，ひつじ書房，1992年）  
[主要論文]  
A Survey of Areal Distribution of Word Order around the World. (*Sprachtypologie und Universalien-forschung* vol.52, pp.64-77, 1999年)  
A Historical View on Areal Distribution of Word Order around the World. (*Sprachtypologie und Universalien-forschung* vol.58, pp.374-391, 2005年)  
現生人類単一起源説と言語単一起源説（『実験音声学と一般言語学』東京堂出版，pp.316-324，2006年）**

**主催：　千葉大学ユーラシア言語文化論講座**

**連絡先：　菅野憲司（**[**kanno@faculty.chiba-u.jp**](mailto:kanno@faculty.chiba-u.jp)**）**